

高 昭和高校 大規模地震時の生徒の行動指針 <常時携行>

いつ・どんな場所で大地震に遭遇したとしても、発災後3日間は、次の行動ポイントを思い出して冷静に行動してください。

- ★地震発生時・緊急地震速報が流れた時 **まず、自分の命を守る。特に頭部を守る！**
- ★揺れがおさまったら自分にできる範囲の救援活動を行いつつ、安全な場所へ避難
→初期消火、そばにいる負傷者の搬出。先生・係員の指示に従い避難。自分一人、生徒だけの場合は自ら状況を判断。
- ★東京都が「一斉帰宅抑制」を発令したら、今後3日間程度滞在する自分の居場所を決める
→昭和高校や自宅以外で地震にあった場合は、作った防災マップを思い出し、自分がいる場所から一番近い**防災施設**へ。防災施設がわからない時は、**こちらのサイト**へ！無理に自宅や昭和高校に行こうとしない。
- ★信頼のできる正しい情報を集める ラジオ、テレビ、インターネットなどで、被害・余震情報や交通情報を収集。
- ★自分の安否を家族や学校などに知らせる →可能な限り**様々な連絡手段を複数**使う。
- ★自宅や当面の居場所で自分の周りの人と助け合う →自宅では家族や隣近所と、昭和高校では先生や仲間と、知らない人どうしても。



<防災施設など災害時の情報がわかるサイト>

- ◆東京都防災HP◆
★防災マップも掲載されています。
- 【パソコン用】
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>
- 【スマートフォン用】
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/smart/>
- 【携帯電話用】
<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/mobile/index.html> →
- ◆Twitter アラート◆
災害が発生した場合にスマートフォンでtwitterを利用している人に、東京都防災、警視庁警備部災害対策課、東京消防庁の重要なツイートを画面上に目立つように表示するサービス
→このサービスを受けるには、Twitterをフォローした上で、裏面のTwitterアラートの登録が必要

あなたから家族へ安否連絡 または 家族の安否をあなたが確認する手段

- <震度6弱以上の地震の場合に使えるサービス>
- ① NTT 東日本「災害用伝言ダイヤル 171」【音声】
★あらかじめ家族でキーとなる電話番号を決めておく。
 - ② NTT 東日本「災害用伝言板 web171」【文字】
★あらかじめ家族でキーとなる電話番号を決めておく。
 - ③ NTT ドコモ、au、Softbankなどの携帯電話事業者による「災害用伝言板サービス」【文字】
★平常時にメッセージ送信先をあらかじめ登録しておく。
 - ④ 安否情報統合 web サイト「j-anpi」
★上記災害用伝言板への登録情報や企業・自治体等が保有する安否情報をまとめて検索・確認できる web サイト
- ※各サービスの伝言登録・確認方法は裏面参照

あなたが昭和高校へ安否連絡する手段

- ① 昭和高校から送付されたメール配信サービス(まちこみメール)【登録制】による安否確認に、「はい・いいえ」などでアンケート返信
- ② NTT 東日本「災害用伝言板 web171」に自宅電話番号をキーとして登録→安否情報統合サイト j-anpi に掲載され、昭和高校もあなたの情報を検索可能に
- ③ 昭和高校受信専用メール BOX へのメール送信 saigaisw@section.metro.tokyo.jp

★昭和高校からあなたへの情報発信手段★

- メール配信サービス(まちこみメール)によりメール一斉配信
 - 学校HPに「災害時の緊急連絡事項」掲載 ●電話による個別連絡
 - 校門等への掲示 ●区市町村役所の掲示板に掲示
 - 連絡のとれた生徒に、既存のSNS(LINEやtwitterなど)による生徒間のつながりで、昭和高校からの情報を他の生徒に伝えるよう協力依頼
- ★震度6弱以上の地震の場合は、昭和高校がNTT 東日本「災害用伝言ダイヤル171」及び「災害用伝言板 web171」にメッセージ登録。いずれもキーとなる電話番号は042-541-0222(昭和高校)

	★発災時	★発災直後	★発災後1日目 ～揺れがおさまったら～	★発災後2～3日目	発災後4日目～1週間	発災後1週間	発災後1週間以降	
昭和高校にいる時	緊急地震速報が流れた時も	○先生の指示に従い↓点呼 ○体育館または校庭へ避難 ○そばにいる負傷者の救出	★正しい情報収集(いずれの状況でも共通) ★一斉帰宅抑制が発令され、保護者が勤務先に留まる場合、生徒は昭和高校に滞在 ★家族への安否連絡、家族の安否確認 ★昭和高校(避難所)自分たちにできることをやる 【例】負傷者の手当 一時滞在施設運営の手伝い 帰宅支援ステーション運営の手伝い ★近隣の施設で自分たちにできることをやる 【例】避難所となる東小・昭和中の手伝い	★一斉帰宅抑制が発令された場合は、保護者が勤務先に留まる場合、生徒は昭和高校に滞在 ★家族への安否連絡、家族の安否確認	生で保 徒護 か者 らとと 学連 校校 が絡 判が 断つ しき、 帰帰 た宅	○自宅に戻った場合、自分や家族などの身の回りの安全を確保した上で、自分の心身の状況に応じて地域の救援・復旧活動に積極的に参画 ○避難所等で共同生活する場合、避難所運営責任者の指示を受けて、運営の手伝いに積極的に参画	○引き続き、自宅や避難所で生活	★昭和高校から授業再開時期等について生徒・保護者への連絡(ホームページ、ツイッター、メール配信等)あり
登下校中・外出中	○係員の指示に従い避難 ○一人の時は、最寄りの避難場所へ避難	★一斉帰宅抑制が発令された場合は、無理に昭和高校や自宅に向かわず、最寄りの防災施設に滞在 ★家族への安否連絡、家族の安否確認 ★昭和高校に安否連絡	昭和高校または自宅に戻る。昭和高校に戻った場合は、学校の帰宅判断に基づき帰宅	同上	同上	同上	同上	
部学校外での遠征中や	○まに先 避の避生 難の難の指 場所場場示 所所所と	★一斉帰宅抑制が発令された場合は、最寄りの防災施設に滞在 ★先生(いなければグループの代表が)昭和高校に安否連絡 ★各自家族への安否連絡、家族の安否確認	昭和高校または自宅に戻る。昭和高校に戻った場合は、学校の帰宅判断に基づき帰宅	同上	同上	同上	同上	
自宅にいる時	保火 家の始 の安末 全安・ 情報難 収集口 確確	★隣近所の安否確認、近隣住民の救出護、消火活動、けが人の救護 ★自宅に留まる場合、ライフラインや食糧の供給が途絶える2～3日は自分でしのぐ。 ★避難所に行く場合は、自宅のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めて避難。避難所運営に協力。 ★家族への安否連絡、家族の安否確認 ★昭和高校に安否連絡	○自宅にいる場合、自分や家族などの身の回りの安全を確保した上で、自分の心身の状況に応じて地域の救援・復旧活動に積極的に参画 ○避難所等で共同生活する場合、避難所運営責任者の指示を受けて、運営の手伝いに積極的に参画	同上	同上	同上	同上	

まず、自分の命を守る。物が落ちてこない「倒れてこない」「移動してこない」。窓ガラスなどが落ちてくるので、頭部を守る。慌てて外に飛び出さない。



★周りの人と助け合い、自分のできることをやる(いずれの状況でも共通)